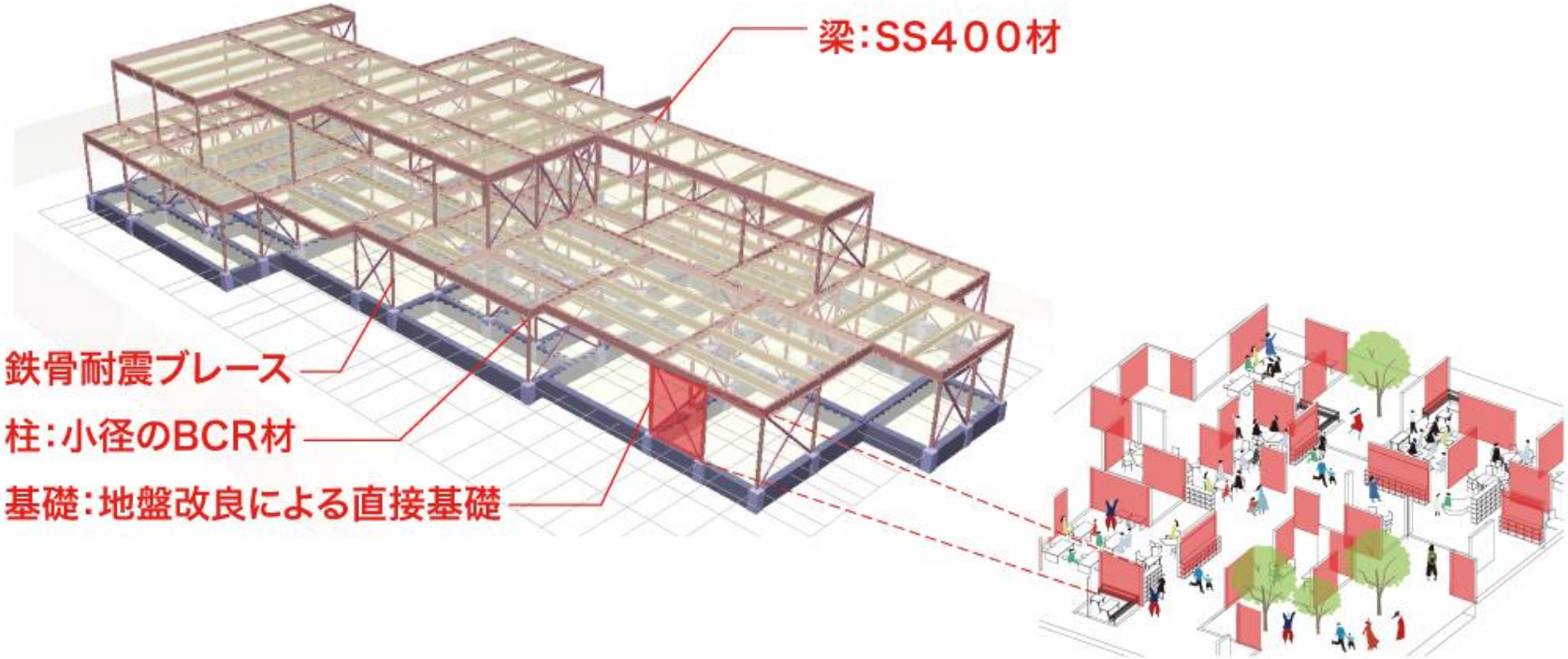
耐震ブレース＋鉄骨造の合理的な構造計画



□ 作業員不足による価格高騰や工期遅延リスクに対処するため、鉄骨造を採用。

□ BCR材の柱と耐震ブレースを組み合わせて壁柱を構成し、経済性と意匠性を兼ね備えたシンプルで合理的な構造計画を実現

工期短縮を実現する建替え計画

【フェーズ 1】(R8.10～R8.12)
解体と並行した盛土部分の土工事

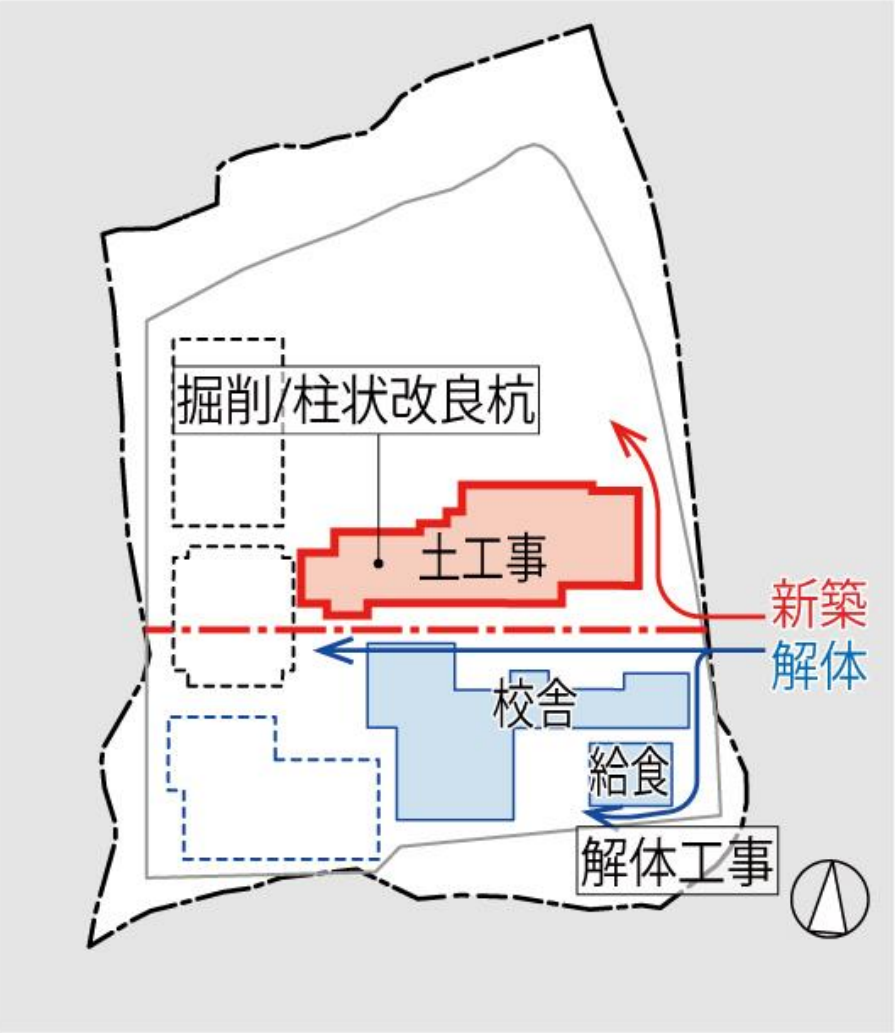
新築の土工事を先行することで全体の
基礎工事と同時に新築工事に移行

【フェーズ 2】(R9.1～R10.3)
解体工事完了後、全体工事・外構整備

地盤改良による杭が不要な直接基礎で
工期を短縮

仮囲い

新築工事



西側から順番に解体を進めることで、工事境界を明確に区分しながら、残りの解体工事と並行して北側の土工事を進め、工期短縮を図る。

工期短縮を実現する建替え計画

【フェーズ 1】(R8.10～R8.12)
解体と並行した盛土部分の土工事

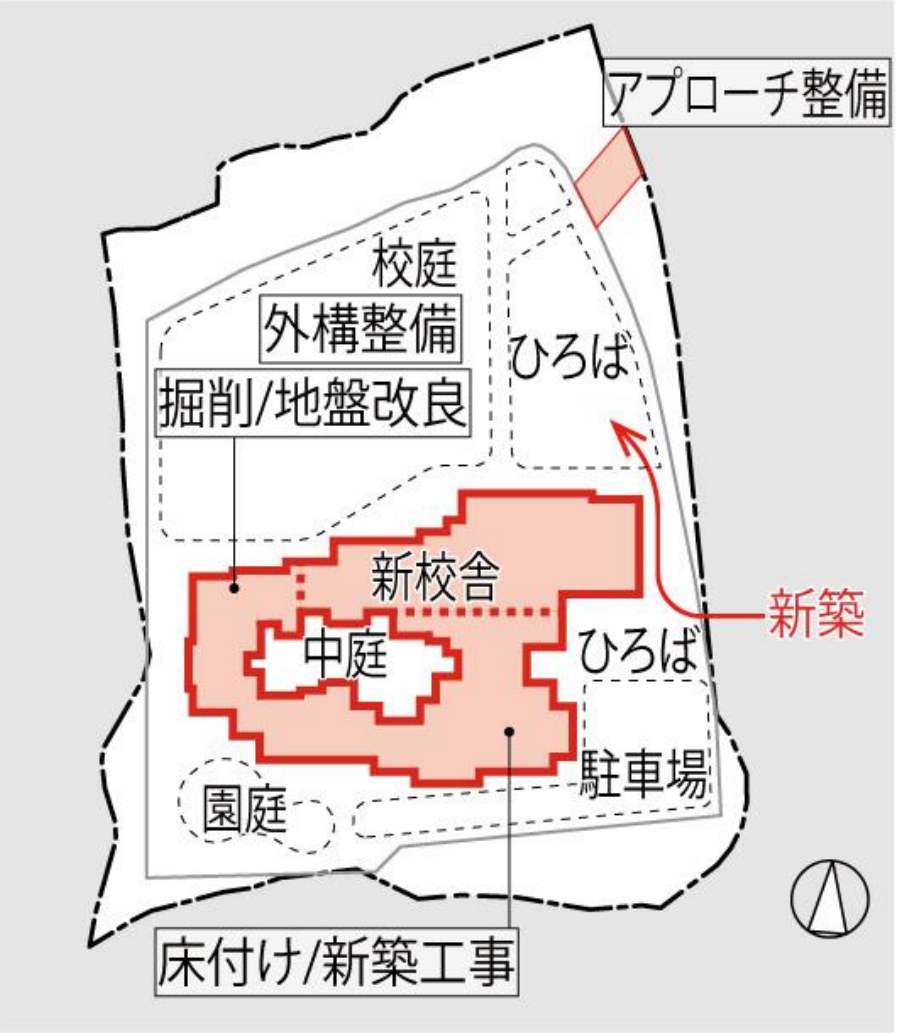
新築の土工事を先行することで全体の
基礎工事と同時に新築工事に移行

【フェーズ 2】(R9.1～R10.3)
解体工事完了後、全体工事・外構整備

**地盤改良による杭が不要な直接基礎で
工期を短縮**

仮囲い

新築工事



安定した地盤面となる既存校舎範囲に配置したことで、地盤改良による杭が不要な直接基礎にできることが大きな特徴
基礎工事の工期を短縮するとともに、開発行為とならない外構計画とすることで、予定工期内での工事完了を確実に実現